

地球温暖化対策指針の見直しについて(報告)にかかる意見及び対応

「反映」・第三次環境基本計画策定時に検討。「参考」・今後の参考とするもの。「追記修正」・意見に基づき追記・修正等を行ったもの。

番号	ページ	氏名	意見要旨	考え方	区分
1		安田 八十五 委員	・新宿区のCO <sub>2</sub> 削減目標の設定根拠が明確ではない。	国のCO <sub>2</sub> 削減目標に準じて設定しています。 (P 8、「2 新たなCO <sub>2</sub> 削減目標の設定」参照)	参考
2	全体		・「低炭素な暮らしとまちづくりのイメージ」や「区民の取組例と一人あたりのCO <sub>2</sub> 削減効果」における具体的な政策手段が挙げられているが、社会的便益費用分析を行うことが必要である。	社会的便益費用分析や経済的効果については、環境施策を進める上で重要な視点だと考えていますが、区独自での分析は困難です。平成29年度に予定している第三次環境基本計画の策定の中で、コンサルタント等の協力を得ながら、考え方を取り入れることができないか、継続して検討していきます。	参考
3			・政策手段には「モラル型政策」、「規制・禁止型政策」及び「経済的政策」の3タイプがある。「経済的政策」は属性ごとに政策導入による経済的効果を測定・評価し、新宿区全体として経済的純便益がプラスの場合、効果がある。そういった経過を踏まえて政策を選択してほしい。	同上	参考
4		崎田 裕子 委員	・環境基本計画のサブタイトルに「温暖化対策実行計画区域施策編を兼ねる」と明記し積極的に取り組む姿勢を明確にしてほしい。	サブタイトルに明記するかは今後の検討課題としますが、本文中に「温暖化対策実行計画区域施策編を兼ねる」と記載し、位置付けを明確にする予定です。	反映
5	全体		・新宿は人口増加、経済拡大基調にあるため、CO <sub>2</sub> は増加傾向になると考えるのが普通である。その中でCO <sub>2</sub> 削減を目指すには厳しい取組を要求されるのではと区民や事業者から反発を招く懸念がある。そのため、「クールチョイス」によるライフスタイルの転換・革新を目指すことを強調するなど、新宿区の将来像を具体化して、区民・事業者の納得感や期待感のある計画に仕上げるのが重要だと考える。	P 12、「1 CO <sub>2</sub> 排出量及びエネルギー使用量の削減に向けて」に「クールチョイス」について追記しました。ご意見にあるとおり、「納得感や期待感のある計画」となるよう検討していきます。	追記修正
6			【参考意見】 ・東京2020オリンピックのレガシーは、持続可能な未来に向けた多様な社会システムが整備されることと考える。それを支える最先端の環境住宅やオフィスビルの建設や交通制度を、2020東京オリンピックを契機に取り入れるという視点を加えることで、多くの区民や事業者の共感が寄せられると考えられる。計画を発信する際には、効果的な将来イメージ図と共に発信することを期待する。	参考とさせていただきます。	参考
7	P. 1		・COP 21に関する記述を追記してほしい。パリ協定で世界全体が自主的に取り組むことに合意したことやその意義について明記してほしい。	P 1、「1 指針見直しの目的」に追記しました。	追記修正
8	P. 3		・パリ協定では5年ごとに世界全体の実施状況を確認する仕組みを構築することになっている。そのため、国の地球温暖化対策計画は「毎年進捗点検をして少なくとも3年ごとに計画見直しをする」こととしている。新宿区の環境基本計画についても、目標期間10年の間にどの程度進捗点検を行い、見直しするのか、PDCAサイクルの回し方について「進捗管理方法」を追記してはいかがか。	環境基本計画については5年毎に見直しを行うこととしています。また、毎年「新宿区環境白書」の作成を行い、PDCAサイクルの視点から環境基本計画の進捗状況をチェックしています。	反映
9			・パリ協定では、多様な主体の参画と連携による取組や都市づくりの具体化が協調されたといわれている。これまでも新宿区では多様な主体の連携を重視しているため、重要性の再確認として「多様な主体による環境都市づくり」を追記してはいかがか。	平成29年度に予定している第三次環境基本計画の策定の中で、新宿区総合計画、都市マスタープラン、環境にかかる個別計画等と整合性を図りながら継続して検討していきます。	反映
10	P. 5		・全国の部門別CO <sub>2</sub> 排出量の推移データを掲載してほしい。民生家庭部門と事業者部門がここ10年増加しており、他の部門に比べて排出削減に向けた期待値が高いことを明記してほしい。	P 5、「2 CO <sub>2</sub> 排出量の状況」に国のCO <sub>2</sub> 排出量の推移及び部門別内訳のグラフを追加で掲載しました。	追記修正

地球温暖化対策指針の見直しについて(報告)にかかる意見及び対応

「反映」・第三次環境基本計画策定時に検討。「参考」・今後の参考とするもの。「追記修正」・意見に基づき追記・修正等を行ったもの。

番号	ページ	氏名	意見要旨	考え方	区分
11	P. 5	崎田 裕子 委員	・新宿区においては、家庭や地域事業者に向けた「国民運動」の呼びかけや、自治体が戦略的に地域で取り組む対策が重要であることを強調してはいかがか。	P 1 2、「1 CO <sub>2</sub> 排出量及びエネルギー使用量の削減に向けて」に「クールチョイス」について追記しました。区民一丸となって温暖化対策に取り組めるよう様々な啓発活動を進めていきます。	追記修正
12	P. 8		・平成27年4月から「フロン排出抑制法」で事業者の義務が強化されているため、事業者の意欲増進につながるよう取組状況の把握について明記したほうがよい。	フロン類については、フロン排出抑制法により包括的に対策を講じるとされていることから、法律の遵守について一層の周知を図ります。(P 8、「2 新たなCO <sub>2</sub> 削減目標の設定」に法施行について追記しました。)	追記修正
13	P. 14		・区による取組内容の参考例に「東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に、水素エネルギーの活用促進することは、重要な視点である。家庭や事業者用燃料電池、燃料電池自動車・バス・フォークリフトなどのモデル的な活用、水素ステーションの整備、災害対応型水素蓄電池、水素エネルギーに関する普及啓発など、検討のうえ、できることから導入を促進する。」ということを追記してはいかがか。	P 1 4、「区による取り組み内容の参考例」にご意見を踏まえて追記修正します。	追記修正
14	P. 17		・区による取組内容の参考例に「日本最大の乗降客を抱えるJR新宿駅など数多くの駅のある新宿区において、公共交通を活用した交通政策を打ち出すことは、新宿らしさを考える上で重要な視点である。」ということを追記してはいかがか。	平成29年度に予定している第三次環境基本計画の策定の中で、新宿区総合計画、都市マスタープラン、環境にかかる個別計画等と整合性を図りながら継続して検討していきます。	反映
15			・区による取組内容の参考例に「●交通対策」という項目を追加し「・区民や来訪者の公共交通の活用に向けた情報整備・コミュニティバスの低炭素化と活用促進・物流や配送の共同化による低炭素化を促進する・休日の東ロー帯のカーフリーデー化・自動車シェアリングの実施・環境配慮型自動車の促進」を記載するとともにすでに掲載している項目を集約してはいかがか。	平成29年度に予定している第三次環境基本計画の策定の中で、新宿区総合計画、都市マスタープラン、環境にかかる個別計画等と整合性を図りながら継続して検討していきます。	反映
16	P. 22		・区による取組内容の参考例「●適応策の促進」には熱中症に関する記載のみとなっている。災害対策、食料生産への影響、感染症対策が重要な視点と言われているため、以下の項目の追記を検討してほしい。 ・洪水対策や災害対応に関する災害基本計画との連携や災害廃棄物対応計画との連携 ・食品ロス削減と食品廃棄物の削減 ・デング熱など感染症対策を徹底する ・熱中症対策として水の給水ポイントの設置	P 2 2、「区による取り組み内容の参考例」にご意見を踏まえて追記修正します。	追記修正
17	その他		・丸田会長から審議会の席で「緑化や水面の重要性の加筆を」というご発言があり、重要な視点であるため環境基本計画に追記してほしい。	平成29年度に予定している第三次環境基本計画の策定の中で、新宿区総合計画、都市マスタープラン、環境にかかる個別計画等と整合性を図りながら継続して検討していきます。	反映
18	全体		(意見) ・委員の意見を十分配慮され、万遍なく取り入れており結構である。 区による取組内容の参考例については、もう少し具体例を示された方がよいと思う。	区による取組内容の参考例については、環境基本計画に統合する際に表現等を整理し、よりわかりやすい記載に努めます。	反映
19	P. 14		・取組方針1-1は適当である。	適切に温暖化対策を推進していきます。	反映
20	P. 17		・取組方針1-2は適当である。	適切に温暖化対策を推進していきます。	反映
21	P. 17		(意見) ・区による取組内容の参考例 ●環境に配慮したライフスタイルへの転換の中で「○歌舞伎町のネオンや大型家電の電化製品の見せ方は環境を意識している人には対策していない街であると印象を与えるため、ライフスタイルの変更等何らかの対策を推進します。」は内容は同意するが、ライフスタイルの項目としては適さないと思う。	環境基本計画に統合する際に表現等を整理し、よりわかりやすい記載に努めます。	反映

地球温暖化対策指針の見直しについて(報告)にかかる意見及び対応

「反映」・第三次環境基本計画策定時に検討。「参考」・今後の参考とするもの。「追記修正」・意見に基づき追記・修正等を行ったもの。

番号	ページ	氏名	意見要旨	考え方	区分
22	P. 17	勝田 正文 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>区による取組内容の参考例</li> <li>●省エネ等の普及促進の「○「電源が必要な何かをやめる」＝「今までしていなかった、別の新しい環境配慮ができる」といった発想の転換に努めます。」は●クールチョイスなど国民運動の普及啓発の項目に該当するのではないか。</li> </ul>	ご指摘のとおり、「クールチョイス」と共通する部分もありますが、区民による取組内容の参考例の具体としては適切と思いますので、区による取組内容の参考例から、区民による取組内容の参考例へと掲載箇所を変更します。	追記修正
23	P. 22		<ul style="list-style-type: none"> <li>取組方針1-3は適当である。</li> </ul>	適切に温暖化対策を推進していきます。	反映
24			(意見) 区による取組内容の参考例 ●その他の「○もっともつと緑が必要だから新宿区に新たに大きな公園を作ります。」「○歌舞伎町商店街一番街一角を地下スペース化し、仕入れ等の自動車の地上走行を禁止する。自動車の侵入は大久保通り(他の通りでもよい)から地下に入るよう計画を作成します。」について実現の可能性はあるのか。実現努力は大切だが空想で終わらないか。	本報告では、各審議会委員から提案のあった取組を記載しています。環境基本計画に統合する際に表現等を整理し、新宿区総合計画、都市マスタープラン、環境にかかる個別計画等と整合性を図りながら継続して検討していきます。	反映
25	全体	野村 恭子 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体として計画期間における将来的な方向性が記載されていない。東京オリンピックや観光立国を目指す政策など、区に影響があるものが多い。</li> </ul>	P2、「2 対象期間」に計画期間中に「東京オリンピック・パラリンピック」が開催されることを追記しました。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックとその開催後も見据えた国際観光都市・新宿としての考え方についても追記しました。	追記修正
26	全体		3つの取組方針について、現行案で良いと思う。	適切に温暖化対策を推進していきます。	反映
27			(意見) ・多くの自然災害が多発し、地球温暖化が昨今、加速しているため、迅速な対応が必要である。 新宿区は2020年東京オリンピックのメイン会場を抱えており、リーダーとしての役割が求められる。 今こそ区と区民が協力し合いCO <sub>2</sub> を削減していこう。 「2020年までに、みどり溢れる美しい新宿区に再生しましょう！」	P2、「2 対象期間」に計画期間中に「東京オリンピック・パラリンピック」が開催されることを記載し、国や都の対応、区の考え方を追記しました。	追記修正
28	P. 6	原田 由美子 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>新宿区の部門別CO<sub>2</sub>排出量の推移が2012年までとなっていますが、2013～2015年までのデータを入れてほしい。</li> </ul>	区のCO <sub>2</sub> 排出量の実績の把握については、オール東京62市区町村共同事業として、都内62市区町村の排出量を共通基準により算出しています。算出に当たっては国や都の各種統計数値を利用することから、集計に時間を要し、現在(平成28年5月現在)の最新の実績は2013年度となります。素案では2012年度の実績を掲載していましたが、P6、「区のCO <sub>2</sub> 排出量の現況」のデータを2013年度に更新しました。	追記修正
29			<ul style="list-style-type: none"> <li>新宿区の部門別CO<sub>2</sub>排出量が2012年となっているが、最新データに更新してほしい。</li> </ul>	上記のとおり。	追記修正
30	P. 14		<ul style="list-style-type: none"> <li>取組方針1-1は適当である。</li> </ul> (意見) エネルギー使用量の削減に、BEMSなどをおおいに導入してほしい。	BEMSの導入については、引き続き推進していきます。	参考
31	P. 17	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組方針1-2は適当である。</li> </ul> (意見) 新宿区に、シェアサイクルをぜひ導入してほしい。	区でもシェアサイクルの早期導入について検討を進めています。	参考	
32	P. 22		<ul style="list-style-type: none"> <li>取組方針1-3は適当である。</li> </ul>	適切に温暖化対策を推進していきます。	反映

地球温暖化対策指針の見直しについて(報告)にかかる意見及び対応

「反映」・第三次環境基本計画策定時に検討。「参考」・今後の参考とするもの。「追記修正」・意見に基づき追記・修正等を行ったもの。

番号	ページ	氏名	意見要旨	考え方	区分
33	P. 22	原田 由美子 委員	(意見) ・新宿区に打ち水を実践してほしい。	区では、夏季に区内各地域の区施設・地域団体・事業者に打ち水の実施を呼びかける「新宿打ち水大作戦」を実施しており、平成27年度実績で15,854人の方が参加しています。今後も、継続して参加者の拡大に努めていきます。	参考
34			・事業者による取組内容の参考例として「新宿打ち水大作戦」のイベント参加だけでなく、区が放水車で街路樹やヒートアイランド化している道路に打ち水を実施してほしい。	「打ち水」は誰でも気軽に取り組める温暖化対策の取組と考えており、放水車等の利用は考えておりません。事業者として区有施設での打ち水を継続して実施していきます。	参考
35			・みどりを増やすため街路樹を植え、新たに大きな公園をつくってほしい。	公園の整備については、「新宿区みどりの基本計画」の中で、「公園の適地(公園の機能向上に資する用地や、公園の少ない地域など)があれば取得を検討し、魅力ある公園整備をすすめていく。」としています。今後、平成29年度に予定している第三次環境基本計画の策定の中で、新宿区総合計画、都市マスタープラン、環境にかかる個別計画等と整合性を図りながら継続して検討していきます。	反映
36			・道路脇のガードレールは全て木に変えてほしい。	木製防護柵の設置については計画的に行っておりますが、安全管理上の問題から全てのガードレールでの採用は困難だと考えています。	参考
37	P. 13	全体 亀井 潤一郎 委員	・読みづらいので表にする等、まとめ方を工夫してほしい。	環境基本計画に統合する際に表現等を整理し、よりわかりやすい記載に努めます。	反映
38	・CO <sub>2</sub> 及びエネルギー量の削減について新宿区では、民生部門(家庭・業務部門)を重点的に実施する必要がある。家庭部門は世帯数の増加、業務部門は延床面積の増加が原因と言われているが、それがCO <sub>2</sub> 増加にどのように関わっているのか定量データが不明なため対策や優先順位が提示できない。バックキャストにも対応できない。		ご意見にあるとおり、民生部門での排出削減が喫緊の課題と考えています。個別の定量データの把握は困難ですが、オール東京62市区町村共同事業「みどり東京温暖化防止プロジェクト」資料による新宿区の延床面積当たりエネルギー消費量などのデータについては把握しており、近年改善傾向がみられます。今後も、国や都などで実施している調査結果などを活用しながら施策を進めていきます。	反映	
39	・オール東京62市区町村共同事業に「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の提案「再生可能エネルギーとスマートコミュニティの研究」があり、基本計画内に反映してほしい。		新宿区も同研究に参加しており、環境基本計画の策定にあたっては「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」が平成27年度にまとめた「平成27年度再生可能エネルギーとスマートコミュニティ導入促進報告書」を活用して検討を進めていきます。	反映	
40	・文面について再考してほしい。 例 ～の活用を図ります。→～の活用。		環境基本計画に統合する際に表現等を整理し、よりわかりやすい記載に努めます。	反映	
41	・個人名を掲載している目的は何か。		質疑等がしやすいように検討段階では審議委員名を掲載していましたが、完成版では削除します。	追記修正	
42	P. 14		・区による取組内容の参考例について「●ZEH・ZEB等の推進」のようにZEBも追記してほしいかがか。	P14、「区による取り組み内容の参考例」に追記します。	追記修正
43			・区による取組内容の参考例の「●中小企業におけるエネルギー施策の推進」の中で電磁波であるLEDの正しい理解と使い方の講習が必要だと考える。	参考意見とさせていただきます。	参考

地球温暖化対策指針の見直しについて(報告)にかかる意見及び対応

「反映」・第三次環境基本計画策定時に検討。「参考」・今後の参考とするもの。「追記修正」・意見に基づき追記・修正等を行ったもの。

番号	ページ	氏名	意見要旨	考え方	区分
44	P. 16	亀井 潤一郎 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ZEHの定義はZEHロードマップ委員会において、2015年12月に確定しているため、それに併せて冒頭文面を修正してほしい。</li> <li>確定定義 「外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現したうえで、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量等の収支がゼロ又はマイナスとする事を目指した住宅」</li> </ul>	資源エネルギー庁が作成した「ZEHロードマップ検討委員会とりまとめ」を参考に、環境基本計画に統合する際に表現等を整理し、よりわかりやすい記載に努めます。	反映
45	P. 17		<ul style="list-style-type: none"> <li>・区による取組内容の参考例「●省エネ等の普及促進」に「○住宅の新築時や賃貸住宅を借りる場合の為に、環境性能評価制度(例:エネルギーパス)の導入」を追記してはかがか。</li> </ul>	建物の環境性能評価はさらなる省エネを進める上で重要な視点だと考えています。平成29年度に予定している第三次環境基本計画の策定の中で、新宿区総合計画、都市マスタープラン、環境にかかる個別計画等と整合性を図りながら継続して検討していきます。	反映
46	P. 19		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者による取組内容の参考例「●環境に配慮したビジネススタイルへの転換」に「○トッピング基準等による複写機、自動販売機等高性能製品の導入」を追記してはかがか。</li> </ul>	現在は「LED照明や高効率給湯器など省エネルギーへの買い替えを検討します」としていますが、P19、「事業者による取り組み内容の参考例」に「省エネ型のオフィス機器を導入します」と追記します。	追記修正
47	P. 22		<ul style="list-style-type: none"> <li>・区による取組内容の参考例「●その他」に「○環境意識を高めるために、庁内の削減目標を野心的に設定、ロードマップ化する。」を追記してはかがか。</li> </ul>	区では、温対法に基づき「庁内温暖化対策実行計画」を策定し、温室効果ガスの排出削減に努めています。現在、平成28年度、平成29年度を計画期間とする「第五次庁内温暖化対策実行計画」に取り組んでいます。	反映
48	P. 23		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者による取組内容の参考例「●熱中症等対策の推進」に「○建物の温熱環境の改善(エアコンを使用して、省エネを心掛ける)」を追記してはかがか。</li> </ul>	平成29年度に予定している第三次環境基本計画の策定の中で、新宿区総合計画、都市マスタープラン、環境にかかる個別計画等と整合性を図りながら継続して検討していきます。	反映
49	P. 24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒートアイランドについてのコラムを追加してほしい。</li> <li>【コラム】 ヒートアイランド現象の進行は人に睡眠や健康に影響が有るだけでなく、近年増加傾向にある局地的な集中豪雨の原因とされるなど私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしています。ヒートアイランド現象の緩和には、緑を増やすことが最も効果的です。ヒートアイランド対策ガイドライン(環境省平成24年度改訂版)30℃以上合計時間数の分布図を掲載する。</li> </ul>	P24にコラムとしてご意見を踏まえて追記修正します。	追記修正	
50	P. 7	福田 雅人 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO<sub>2</sub>及びエネルギー量の削減について新宿区では、民生部門(家庭)についての対応は限界をむかえていると思われるため、民生部門(業務)についての対策が必要だと思う。</li> </ul>	ご意見にあるとおり、民生部門での排出削減が喫緊の課題と考えています。都では、スマートエネルギーエリア形成推進事業等の事業者に対する助成を行っているため広く周知に努めます。また区では、事業者対策として中小事業者省エネルギー支援対策、LED照明設置補助や環境マネジメント認証補助等の施策を実施しているため、活用していただけるよう更に周知してまいります。	反映
51	P. 7	遠田 千草 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区としての適応策の検討はぜひ進めていくべきだと思う。</li> <li>(意見) 新宿駅周辺に商業ビルや施設の開業が最近、目立つが、新しさや便利さが先に立ち、エコ推進がみられない。民生部門(業務)への適応策は急務だと思う。</li> </ul>	一定規模以上の新築または増築の建築物については、断熱性能や省エネ性能などの省エネルギー性能基準の確保が求められています。既設ビルへの対応や中小事業者の省エネ行動の促進が課題だと考えております。区では「新宿区都市マスタープラン」に都市の低炭素化について盛り込み、事業者の温暖化対策を効果的に誘導していく手法を今後も継続して検討を進めていきます。	反映

地球温暖化対策指針の見直しについて(報告)にかかる意見及び対応

「反映」・第三次環境基本計画策定時に検討。「参考」・今後の参考とするもの。「追記修正」・意見に基づき追記・修正等を行ったもの。

番号	ページ	氏名	意見要旨	考え方	区分
52	P. 12	遠田 千草 委員	・建築物の省エネ化や、新建築物における省エネ基準の適応の推進について (意見) 建築資材や人件費の高騰によって建物を少しでも安く仕上げようとする傾向がある。建築物の省エネ化はお金がかかるため、新築の際にどれだけエコ建築できるかが重要だと思う。	平成29年度に予定している第三次環境基本計画の策定の中で、新宿区総合計画、都市マスタープラン、環境にかかる個別計画等と整合性を図りながら継続して検討していきます。	反映
53	P. 14		・取組方針1-1は適当である。	適切に温暖化対策を推進していきます。	反映
54	P. 17		・取組方針1-2は修正した方がよい。 (意見) 取組方針1-2の中に「学校」も入れてほしい。 年齢に合った環境教育を、一度ではなく繰り返し行ってほしい。幼い頃から「環境に配慮することは当たり前」、親世代に教えられるくらいの知識を得てほしい。	ご意見のとおり、環境施策を進める上で、環境教育はとても重要だと考えています。第三次環境基本計画では、「環境教育の推進」を重要な視点とし、環境学習・環境教育の裾野の拡大に努めていきます。本報告では取組方針とはしませんが、環境教育は環境基本計画全体に関わるものだと考えています。	反映
55	P. 22		・取組方針1-3は適当である。	適切に温暖化対策を推進していきます。	反映
56	全体		・地球温暖化対策は、様々な問題が複雑に絡み合う問題だが、「分かりやすさ」を意識して推進をすすめてほしい。 老若男女や外国人にも分かりやすい標語やマークがあっても良いと思う。	基本目標については、できるだけ分かりやすいものにしたいと考えています。平成29年度に予定している第三次環境基本計画の策定の中で、新宿区総合計画、都市マスタープラン、環境にかかる個別計画等と整合性を図りながら継続して検討していきます。	反映
57	全体	手塚 京子 委員	(意見) ・地球温暖化(ヒートアイランド)対策のカギは”自然と経済のバランス”、”自然との共存”にあると思う。 人間は自然と共に生きているので、ないがしろにしては、生きていけない。また、人間(生物)が自然と共に安心して、健やかに暮らせる環境作りを意識して努力することが必要不可欠である。	参考意見とさせていただきます。	参考
58	P. 22		・取組方針1-3について対策を追加してはいいかがか。 ”自然と経済のバランス”を考えた対策 ビルディング建築の際には、必ず水辺(水面)の場所と緑化(樹木・植物)地帯を造る。	区では「安全で快適な、みどりのあるまち」を推進するため、一定規模以上の建築については緑化計画書を提出し、事前に認定を得ることを義務付けています。平成29年度に予定している第三次環境基本計画の策定の中で、新宿区総合計画、都市マスタープラン、環境にかかる個別計画等と整合性を図りながら継続して検討していきます。	反映
59	P. 19	鈴木 一末 委員	・グリーンエコプロジェクトについて追記してはいいかがか。	事業者等が手本とすべき取組だと考えますので、P20にコラムとして「グリーン・エコプロジェクト」を追記します。	追記修正
60	P. 14	山本 竜太郎 委員	・新宿区地球温暖化対策指針において、低炭素型設備の導入を推奨している。その中で具体的な機器の例示として高効率ヒートポンプも挙げられているため、今回の方針の中にもヒートポンプについての記載を追加すべきである。	P14・15、「区及び事業者による取組内容の参考例」に追記します。	追記修正
61	P. 17		・新宿区地球温暖化対策指針において、低炭素型設備の導入を推奨している。その中で具体的な機器の例示として高効率ヒートポンプも挙げられているため、今回の方針の中にもヒートポンプについての記載を追加すべきである。	P17~19、「区、区民及び事業者による取組内容の参考例」に追記します。	追記修正

地球温暖化対策指針の見直しについて(報告)にかかる意見及び対応

「反映」・第三次環境基本計画策定時に検討。「参考」・今後の参考とするもの。「追記修正」・意見に基づき追記・修正等を行ったもの。

番号	ページ	氏名	意見要旨	考え方	区分
62	P. 18	山本 竜太郎 委員	<p>・電気自動車は内部に蓄電池を有しており、HEMSと相互連携によりエネルギー利用の高度化に貢献する。HEMSの効果を高める電気自動車を推奨する記載を追加すべきである。(傍線部分)</p> <p>P. 18 区による取組内容の参考例 ○エコカー普及のためのエネルギー供給施設の基盤整備を促進します。このうち電気自動車の普及による、エネルギーの利用高度化を推奨します。</p>	電気自動車を活用したエネルギー利用の高度化については区も認識しています。区は、今後も電気自動車に限らずエコカーを推進していく考えです。今回の方針では電気自動車に特化した記載はしませんが、第三次環境基本計画策定の中で燃料電池自動車等も含めて検討を進めていきます。	反映
63	P. 22		<p>・取組方針1-3は適当である。</p>	適切に温暖化対策を推進していきます。	反映
64	全体		<p>・内容については、学識の知見も踏まえており問題ないと思う。ただし、新宿区は2030年まで人口増、世帯数増が見込まれ、大規模建築物の建て替え、新築が進み、昼間、夜間ともに人口が増加すると考えられる。そのため、民生部門のCO<sub>2</sub>排出量削減が重要だが、エネルギー効率だけでは問題解決は難しく、エネルギー使用量の削減目標達成は厳しいと思う。</p>	ご指摘のとおり、2030年前後まで新宿区は人口増、世帯増が見込まれており、エネルギー使用量の削減目標達成は難しい課題だと考えています。建築物の建替えによる省エネルギー化や、区民のライフスタイル・事業者のビジネススタイルの転換、国のエネルギー政策など総合的な取組の中で対策を進めていきます。	反映
65	P. 10	中臺 浩正 委員	<p>・電力のCO<sub>2</sub>排出係数は、把握できれば2013年、2014年を記載すべきではないか。2012年は、旧式火力などを再稼動しているので急上昇したが、2013年以降はLNG等の利用で若干下がっていると考えられる。(山本委員によれば、原単位も減少していると仰っていたため。)</p>	ご意見にあるとおり、電力のCO <sub>2</sub> 排出係数については減少傾向にあることは認識しています。区のCO <sub>2</sub> 排出量の実績の把握については、オール東京62市区町村共同事業として、都内62市区町村の排出量を共通基準により算出していることから、この算出に使用している排出係数を利用しています。素案では2012年度の実績を掲載していましたが、P10、「都内の電力のCO <sub>2</sub> 排出係数の推移」のデータを2013年度に更新しました。	追記修正
66	P. 14		<p>・環境関連の助成金は国や都・関連機関などから中堅企業・大企業にも出されているが、啓蒙普及が十分に行われていない。区としては、この部分にも力を入れていくべきだと思う。</p>	事業者への情報提供の必要性は区も強く感じおり、区の取組を強化しています。区広報やホームページだけでは限りもあることから、各種のイベントでの周知するとともに、東京商工会議所や業界団体とも連携を図り、周知に努めていきます。	反映
67	P. 19		<p>・事業者による取組内容の参考例「●環境に配慮したビジネススタイルへの転換」の中に「○建築物の断熱構造化を図るため、遮熱塗料、断熱窓や遮熱フィルムの活用に努めます。」、「LED照明や高効率給湯器など省エネルギー機器への買替を検討します。」があるが、P. 15取組方針1-1の事業者による取組に「●省エネルギー設備等の導入促進」の項目を追加して移動してはいかがか。</p>	両方の取組方針に関わるものですので、P15、「取組方針1-1」に新たに加え、現在掲載しているP19、「取組方針1-2」では再掲とします。	追記修正
68	P. 14		<p>取組方針1-1に省エネ高効率給湯器の普及についての記載を加えてはいかがか。従来型の給湯器に比べ省エネ高効率給湯器は排熱回収システムにより給湯熱効率が向上し、CO<sub>2</sub>排出量を削減するため、改修等を計画している場合は省エネ型を推奨する。</p>	P18、「取組方針1-2」の「区民による取組内容の参考例」に記載しています。	記載済
69	P. 17	小畑 俊満 委員	<p>シェアサイクルの早期導入を検討してほしい。今年の初め、千代田・中央・港・江東の4区で相互乗り入れ実験を実施した。その結果、各区で利用回数が増加し、利用促進効果が確認されている。新宿区は千代田区・港区と隣接しており、多くの区民が利用することによりCO<sub>2</sub>排出量の削減につながると思う。</p>	区でもシェアサイクルの早期導入について検討を進めています。	参考

## 地球温暖化対策指針の見直しについて(報告)にかかる意見及び対応

「反映」・・第三次環境基本計画策定時に検討。「参考」・・今後の参考とするもの。「追記修正」・・意見に基づき追記・修正等を行ったもの。

番号	ページ	氏名	意見要旨	考え方	区分
70	P. 17	小畑 俊満 委員	(紹介) 東京ガスで推奨している家庭でできる省エネ方法のご紹介 ●お風呂、台所、リビングでの省エネ ・シャワーの使用はこまめに出湯を行う ・鍋でお湯を沸かすときはふたをする ・冷房時は28℃、暖房時は20℃の室温を目安にする等	参考意見とさせていただきます。	参考
71	全体		学校教育への出張授業の普及を進めてはどうか。 東京ガスでは小学校や公民館を対象にエコクッキングの出前出張を行っている。内容としては、エコライフスタイルの実施です。エコクッキングを心掛けることで、ガス、水、生ごみ量を削減しCO <sub>2</sub> 排出量の削減効果が期待できる。	環境学習出前講座として年間100回程度、出張授業を行っています。今後も環境教育を推進していきます。	参考
72	全体	桑島 裕武 委員	・環境問題は重要だが区民が理解しにくい。CO <sub>2</sub> 排出の最も多い民生(業務)にはISO14001の取得推進、民生(家庭)には出前授業のような活動を行い理解を深めてもらってはどうか。区民全体の意識改革をして取り組まないと、実現は厳しいと思う。	ご指摘のとおり、区が直面している環境課題をわかりやすく説明することが重要だと考えています。環境学習・教育の推進を今後も進めていきます。	反映
73	P. 7		・技術の進歩によりクリーンエネルギーをいかに早く開発するかが課題だと思う。	参考意見とさせていただきます。	参考